

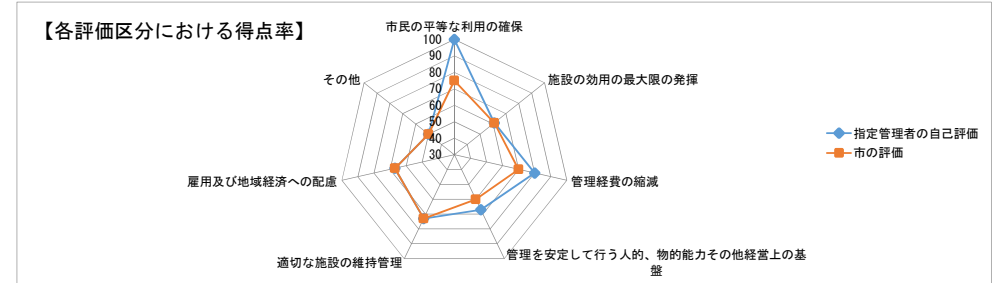
令和2（2020）年度 指定管理者制度導入施設 管理運営評価結果書

施設名称	郡山市更生園		施設区分	事業実施型			
施設所在地	郡山市希望ヶ丘22-16		指定管理者	社会福祉法人郡山市社会福祉事業団			
指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日		施設所管部課	保健福祉部障がい福祉課			
評価項目	評価基準	配点（標準点）	指定管理者自己評価	自己評価コメント	市評価	市評価コメント	特記事項
I 市民の平等な利用の確保							
1 平等利用	市民の利用にあたり、公平であるか。 （例：使用許可、使用料等の減免、利用の制限等）	2(1)	2	「他の施設」として利用者の意向を尊重し、平等利用・公平性を確保しよう配慮した。	2		
2 危機管理、事故・災害等への対策・対応	事故・災害発生時又は危険予測時の対策・対応が行われているか。（例：マニュアル整備、訓練等）	2(1)	2	防災訓練には防災DVDを視聴してから行なうなど情報等からの正確な訓練を行った。コロナウイルス予防に努めた。	2	予定されていた訓練を実施しており、初回は事前に確認するなど工夫がなされた。	
	小計	4	4		3		
II 施設の効用の最大限の発揮							
3 管理運営方針	市が示している管理運営方針及び仕様書に合致した、施設の管理運営がなされているか。	4(3)	3		3		
4 事業実施状況	計画どおり事業が実施されているか。サービス向上の取り組みがなされているか。	10(6)	4	コロナ対策で対外的な行事は中止となったが、事業計画に沿った事業運営を行った。	4		
5 広報・PRの実施	利用促進のための取組みを実施しているか。（例：事業の開催案内、ホームページの管理等）	4(3)	3	次年度学校の連携により管理運営の現状を積極的に発信し利用促進につなげるよう努めた。	2		
6 接客態度	言葉づかい、態度、電話対応、名札、服装等は適切か。	4(3)	3		2	令和2年11月10日実施したアンケート結果の程度に少し対応があった。	
7 苦情・要望の把握・対応	利用者からの苦情、要望を受け、迅速に対応しているか。（記録整備を含む。） 特に重要な事項については、遅滞なく市へ報告しているか。	4(3)	3		3		
8 市、関係機関、類似施設、地元等との連携	市、他の指定管理者、関係機関、類似施設、地元等との連携を図っているか。（例：施設間の前倒し・相互利用、地元とのタイアップ、積極性等）	4(3)	3		4	施設連携協議会のほか、今年度から近隣のコンビニとの協力を得て、買い物支援を行うなど地域との連携が図れている。	
9 利用者アンケートへの対応状況	利用者アンケートによる指摘のうち、改善すべき事項について対応を図っているか。	3(2)	2		2		
	小計	33	20		20		
III 管理経費の縮減							
10 帳簿管理・経理	帳簿等は適正に管理されているか。契約にあり、適正な経費算定（積算）が行われたか。業務委託や修繕について適正な監督、検核が行われたか。	5(3)	5	契約、会計帳簿等全て適正に整備するように努めた。	5		
11 収入確保、支出の適正化等、予算の執行状況	収入確保の取組みを推進しているか。指定管理料を含め、支出が適正に行われたか。	5(3)	3		2	収入が前年度比10%減、収支差額がマイナスとなっている。	
	小計	10	8		7		
IV 管理を安定して行う人的、物的能力その他経営上の基盤							
12 人員・研修体制	人員の配置、勤務実績、労働環境等は適切か。必要な資格、経験等を有する人員が確保されているか。職員に対し研修を実施しているか。	5(3)	3		3		
13 収支状況	収支予算書どおりの収支状況となっているか。	5(3)	3		2	収入が前年度比10%減、収支差額がマイナスとなっている。	
14 連絡調整	協定書等に従い、市への各種届出、報告、提出、協議、相談等を適切に行っているか。市や地域、関係機関との連絡調整を適切に行っているか。	5(3)	4	協定書に基づき市への各種届出、報告等を行った。	4		
	小計	15	10		9		
V 適切な施設の維持管理							
15 施設・設備の保守管理	法定点検が適正に行われているか。施設・設備が適切に利用できるような状態が保持されているか。（修繕を含む。）	10(6)	7	仕様書に基づく契約により法定点検等を適切に行った。	7		
16 安全の確保	建物・設備等が安全に利用できるような状態が保持されているか。	4(3)	3		3		
17 清掃・衛生・美観維持	利用者が快適に利用できるような状態が保持されているか。市の指定管理施設にふさわしくないチラシやパンフレットの陳列、ポスター掲示等がないか。	4(3)	3		3		
18 備品の管理	備品が適切に管理されているか。	2(1)	2	備品の適正利用・配置に努め管理を行った。	2		
19 持ち込み物品等の管理	持ち込み物品等が適切に管理されているか。（例：持ち込み物品等管理簿、表示等）	2(1)	2	持ち込み物品は台帳管理により適正に管理を行った。	2		
20 法令等遵守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告、手続き等を行っているか。	2(1)	1		1		
21 個人情報保護	個人情報保護に関する規定が整備されているか。個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じているか。	2(1)	1		1		
	小計	26	19		19		
VI 雇用及び地域経済への配慮							
22 雇用・労働条件への配慮	労働基準法等の労働関係法令、郡山市公契約条例等の遵守がなされているか。労働条件への配慮は十分か。	3(2)	2		2		
23 地域経済への配慮	計画通りに市内からの職員採用を行っているか。再委託は計画通り適正に行われているか。市内事業者への再委託を行っているか。	3(2)	2		2		
	小計	6	4		4		
VII その他							
24 活動指標	設定した指標の目標値（実施日数、243日）を達成しているか。	2(1)	2	設定した施設稼働日数は計画通り行った。	2		
25 成果指標	設定した指標の目標値（施設利用者数、7,017人）を達成しているか。	2(1)	0	施設利用者数は5,481人と大きく下回った。	0		
26 指定管理業務への姿勢	積極的な管理運営、市に協力的であるか。地域や民間事業者と円滑な関係を構築しているか。	2(1)	1		1		
	小計	6	3		3		
合計点		100	68		65		

	実績					合計
	令和元（2019）年度	令和2（2020）年度	令和3（2021）年度	令和4（2022）年度	令和5（2023）年度	
指定管理料（千円）	0	0				0
利用料金収入（千円）	44,239	42,883				87,122
利用者数（人）	5,614	5,481				87,122
二次評価（市の評価）	C	C+				
備考						

サービス向上対策

前年度のサービス向上対策のほか、社会的自立に向けた取組みとして今年度から買い物学習を年4回実施した。近隣のコンビニを活用し1回500円以内での買い物をすることで地域との相互理解を深めた。ご家庭へのアンケートから「経験を積み自信につなげ楽しんで買い物ができるようになって欲しい」との要望を受け、入店時の消費やマスクの着用、店内でのマナーなど、回数を重ねるごとにスムーズな行動がとれるようになった。



【一次評価（指定管理者による自己評価）】

評価	点数	評価内容
C+	68	<p>【総合評価（評価できる点等）】コロナウイルス感染症が広がる中、施設内衛生管理を徹底し利用者並びに職員の健康維持に努め、一人の感染者を出すことなく事業を遂行した。利用者が安心を持てるような手洗いポスターを洗面所に貼り付け手洗いの推進を行い、視聴覚センターから感染予防のDVDを借り全員で視聴して注意点を学ぶなど啓発に努めた。また、今年度から新たに「買い物学習」を取り入れ近隣のコンビニで年4回実施した。地域内での買い物は地域住民と利用者の相互理解につながり、コロナ禍における店内でのマナーを練習し学べるなど有意義な活動となった。送迎には従来中型バス1台で行っていたものを7月からマイクロバス1台とワゴン車1台の2台で展開することになり、利用者ニーズに沿うよう努めた。福祉サービスを提供する公の施設として関係法令の遵守と郡山市との連携を図り仕様書及び指定管理申請時の提案内容を概ね良好な状態で実施することができた。</p> <p>【次年度に向けて改善が必要な点】コロナ禍による利用控え、人工透析や糖尿病等による体調不良が重なり大幅な利用者減となった。新規利用者の獲得が当面の課題となっているため、引き続きあぶくま支援学校との連絡調整を行い、次年度に向けた実習生の受け入れにより利用者増に繋げていきたい。</p>

【二次評価（市による評価）】

評価	点数	評価内容
C+	65	<p>【総合評価（評価できる点等）】新型コロナウイルス感染症拡大の中、感染対策に努めながら、職員の手作りの用具を使い、利用者の体を動かす取り組みをしたり、家庭菜園などを進めて、利用者の食育などにも取り組んだ。また、今年度は近隣のコンビニの協力を得て、年4回買い物学習を実施し、日常生活で必要なスキルを得るとともに、地域の住民との相互理解が促進された。また、送迎用車両を新たにリースしたことにより、利用者、保護者の要望や障がいの特性に応じた細かい送迎サービスを実施することができた。</p> <p>【次年度に向けて改善を望む点】昨年度に引き続き、利用者増と収入確保のため、利用者のニーズを把握し、新規利用者の確保に向けた取り組みが必要である。</p>

【改善のための行動計画】

行動計画

【前年度の指摘事項】利用者増と収入確保のため、利用者のニーズを把握し、新規利用者の確保に向けた取組みが必要である。

【改善対応状況】利用者増と収入確保のため利用者ニーズである送迎をマイクロバス・ワゴン車・軽自動車の3台を使用し、出来るだけ利用者の意向に沿った送迎サービスに繋がるよう努めている。また、引き続きあぶくま支援学校との連絡調整を進めている。